

◇近況◇

素 人 校 長 奮 迅 記 (1)

浅 井 辰 郎

ずるずると 昭和49年も押し詰った頃、学部長から「選考委員会で何人か候補者をあげているが、浅井さんもその中に入れてよいか。仕事は月2回の教官会議出席と、ついでの時に決裁印を捺すくらいです」という。まさかそんなに生易しいわけではないと思いつつも、「この辺で地理学科から誰か出ないと具合が悪かろう」という内部の声もあって、私自身は厭だし能力もないことは重々承知だが、つい「候補者の末席になら入れられても已むを得ません」と返事した。所が数日して早くも学部長はニコニコして「委員会で決まりました。これで私は安心です」という。「何人の中で」と聞きたかったが、グッと耐えたので詳しい事情は今もって判らない、その後、前に校長であった方々や現校長に仕事を伺ったが、精々「いろいろの挨拶や原稿がきが多いですよ」という程度なので、大きな責任は別として時間的にはその位かなと、何となく甘く考えて了った。梯子は外された。3月末になるといよいよお目見え。25日朝は1,2年生の前で新任式、自己紹介を行い今までの旅行地をしゃべる。全く自信はなかったが生徒の感想は「親しみ易い」とか。本懐だ。夕方は池袋で新旧校長・教官歓送迎会、吉田前校長らと3次会まで際合う。4月8日入学式、生徒の新目標の1つにもと、新しいハンブルクの医学気象予報に関する女性研究者の話、好奇の目が嬉しい。9日、2・3年生と1年生の対面式で又訓辞。30日、PTA役員会、折しも日本地理学会創立50周年記念式典の日で、集会委員長として午前の講演会をモニターしたのち、タクシーで駆けつけ、10分間の忙しい挨拶。地理出身の岡田副会長がニコニコして居られ、嬉しかったりテレたり。すぐ又記念式に戻り、ギリギリで全参会者記念撮影の指揮をとる。全く際どい芸当。5月10日同窓連絡会。15日PTA総会。夜大塚でお茶の水会。珍しいほど歌やかくし芸が出たとの評。幸先よし。17日朝から虎の門で全国付属連盟高等学校部会。部会長として秋のお茶大での総会に歓迎の辞を述べる。22日1年生の菅平合宿に8ミリトッキー撮影機をもって同行、翌朝登山の一行を撮り、急ぎ帰京、日本気象学会大会で「ビル内の垂直気温分布と外気温との関係」を発表。26日作楽会総会、老婦人ばかりの中で自己紹介。研究内容は後に会誌「作楽」に「極北の珍島アイスランド」となる。30・31日は新宿の全国高等学校校長会議に詰め、問題点と熱気を体験。全く予想しなかった忙しさ!! しかも隔週に定例教官会議と毎月の付属連絡会。週3回の大学講義。もう紙巾がない。そろそろ判って来た全入・共学の懸安問題と秋の正に糞塵記は来年に延そう。